
震える、二つの肩

江角 稚

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

震える、二つの肩

【Nコード】

N3186Z

【作者名】

江角 稚

【あらすじ】

とある女の子と、

とある青年のお話。

・・・あながち、間違いではないと思います。

プロローグ

恐怖。

目の前に広がる光景は、
多分、一言で表すのならそんな感じ。

私は彼の肩越しに、
”恐怖”を見ていた。

その肩は、
私を守ろうと必死だった。

私はただ、
怯え、震えていた。

いつも通りの帰り道。
いつも通りの公園で、
いつも通りに友達と過ごし、
いつも通りにバイバイして。

そして、
いつもと違う出来事に

遭遇した。

四人。

急に、

腕を

掴ま
れ
て

…連れていかれそうになった。

そこに通り掛かったのは、
二十歳前後の
青年だった。

そして、今に到る。

私を助けようとした彼は、
今、私を庇うようにして

私の前に立ちはだかっている。

ただ、

彼は突き飛ばされて

私達と一緒に尻餅をついた。

…私に至っては、
壁に頭を強したたかに打った。

そして、

私が彼の肩越しに
見ていたものは。

四人の男と、

四つの刃物。

銀色に、怪しく光るそれは、
私を怯えさせるには
十分過ぎる代物だった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3186z/>

震える、二つの肩

2011年12月11日01時53分発行